

山形県感染症発生情報

第21週(平成22年5月24日～平成22年5月30日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	2		
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	0	▽	
咽頭結膜熱	8	△	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	123	▽	多発中
感染性胃腸炎	246	▽	多発中
水痘	108	△	多発中
手足口病	43	▲	
伝染性紅斑	14	▽	
突発性発しん	22	△	
百日咳	0	▽	
ヘルパンギーナ	2		
流行性耳下腺炎	21	△	
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	7		
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	1	△	
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	2		
無菌性髄膜炎	2	▲	

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)	
	第21週	1週前	2週前		
2類感染症	結核	4	3	4	66
	コレラ	0	0	0	0
3類感染症	細菌性赤痢	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1	12
	バラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症	E型肝炎	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	2
	アメーバ赤痢	0	0	0	3
	ウイルス性肝炎	0	0	0	1
	急性脳炎	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0	1
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2
	風しん	0	0	0	0
	麻疹	0	0	0	1

- 1 感染性胃腸炎は、前週に比べ県全体で約2割減少している。しかし、寒河江市、南陽市の医療機関で定点当たり報告数が増加しているため、注意が必要である。(寒河江市:28.0人、南陽市:17.5人)
- 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、鶴岡市、高島町、米沢市の医療機関で定点当たり報告数が多い(鶴岡市:9.3人、高島町:8.0人、米沢市:7.0人)
- 3 手足口病は、前週とほぼ同数であった(報告数が多い定点 長井市:4.0人、新庄市:3.7人、山形市:3.0人)。本県の第21週までの累積報告数は587人で過去10年間で最も多く報告されている。
- 4 水痘が前週に比べ、2倍以上増加している。米沢市、東根市、鶴岡市の医療機関で定点当たり報告数が多い。(米沢市:13.0人、東根市:12.0人、鶴岡市:6.8人)
- 5 伝染性紅斑は、前週に庄内地区で急激に増加したが、今週はほぼ平常並みの報告数に減少した。
- 6 クラミジア肺炎の患者が、村山地区から1名報告された。
- 7 無菌性髄膜炎の患者が、庄内地区から2名報告された(うち1名の原因病原体は、ムンプスウイルス)。
- 8 結核の患者が村山地区から1名(東南村山)、置賜地区から1名(西置賜)、庄内地区から2名(飽海 2)、計4名報告された。

(6月1日現在 山形県衛生研究所)